

大和電機工業 初代女王



日本女子リーグ順位決定節で優勝し、今年度再編されたリーグの初代女王となった大和電機工業(チーム提供)

ソフトボール日本女子リーグ

ソフトボールの日本女子リーグ順位決定節は4〜6日に茨城県小美玉市の希望ヶ丘公園グラウンドで行われ、大和電機工業(下諏訪町)が優勝を飾った。静甲(静岡)との決勝はタイブレーカーの延長十回までもつれた熱戦を3-2で制し、今夏の全日本実業団女子選手権決勝で大敗した相手に雪辱。今年度の再編で一新されたリーグの初代女王に輝いた。
(杉本哲也)

ライバル・静甲を一丸で撃破

順位決定節

▽1〜4位決定戦予選リーグ

①大和電機工業(下諏訪町) 2勝1敗②静甲(静岡) 2勝1敗③モリオールエフカンヤ(鹿児島) 2勝1敗④ストリンイテノミヤ(愛知) 3敗1勝敗同数は得失点差による

大和電機 6-3 カノヤ
大和電機 4-0 イチノミヤ
静 甲 2-0 大和電機
静 甲 3-0 イチノミヤ
カノヤ 2-1 静 甲
カノヤ 4-1 イチノミヤ

▽3位決定戦

カノヤ 3-0 イチノミヤ

▽決勝

大和電機工業
0000000010213
0000000010112

静 甲
(延長十回、八回からタイブレーカー)
(大和) 大串 堀
(静甲) 山本 中尾
(静) 二塁打一本間(静)

今季の日本リーグには12チームが参加し、プラチナ、サファイアの2セクションに分かれて4〜10月にレギュラーシーズンを実施。大和電機工業はプラチナセクション2位となり、両セクション2位までの計4チームで争う順位決定節の1〜4位決定戦に進んだ。

順位決定節ではまず総当たりの予選リーグで争い、3チームが2勝1敗で並んだが、大和電機工業は得失点差で1位通過した。投手戦となった決勝は七回まで0-0のまま決着が付かず、無死二塁から始まるタイブレーカーの延長に突入。大和電機工業は1-1の十回1死一、三塁から古賀の中前打で2点を勝ち越すと、直後の守りを完投のエース右腕大串が1失点にのり勝ちした。

大和電機工業の車主将は「何度もピンチはあったが粘り強く守り、最後にきた流れを生かすことができた。ずっと勝てなかった相手に勝って優勝できたのはすごくうれしい」と声を弾ませ、杉野監督も「まさに死闘だったが、よく我慢して勝ち切ってくれた。選手たちは春から本当に成長してくれた」とチインの奮闘を称賛。その上で指揮官は「まだ若いチーム。この優勝をステップに、今後は国体や全日本総合選手権でも活躍できる力をつけていきなさい」と先を見据えた。